

エコ タイムズ Eco times

～熊本県環境センターだより～

94号

2021年度



目次

- | | | | |
|-------|-----------------------|------|------------------------------|
| P 1 | 表紙 | P 9 | 環境センター VR 展示紹介 |
| P 2～4 | 令和3年度環境絵画コンクール入賞作品の紹介 | P 10 | 環境マンガ |
| P 5 | 県からの情報（高校教育課） | P 11 | 環境センター事業（出前講座「動く環境教室」） 紹介 |
| P 6・7 | イベント報告 | P 12 | 情報プラザ紹介、新刊紹介 |
| P 8 | 施設紹介（環境シアター） | | |

「令和3年度熊本県環境絵画コンクール」入賞作品の紹介

本コンクールは、県内の小学生を対象に、環境について考えていることや感じていること、こうなったらいいなどと思うことなどをテーマに絵画を募集しています。今年は、県内161の小学校から2,296点と過去最高数の出品がありました。その中から特選各学年2点、入選同4点、佳作同4点の合計60点の入賞作品を選出しました。入賞作品を掲載した「2022くまもとエコカレンダー」を作成し、特選作品は各月のページに載せております。

特選

熊本市立北部東小学校
4年 豊田 隆介



1月 再春館製菓所賞 「未来のだつ炭そクリーン社会」

熊本市立春日小学校
3年 洲上 恒輝



2月 環境センター賞 「植物温室」

益城町立広安西小学校
1年 井戸口 蓮



3月 グランメッセ賞 「バツタのせなかののる」

益城町立広安西小学校
1年 竹元 莉子



4月 グランメッセ賞 「いきものがおおきくなったよ」

山鹿市立八幡小学校
5年 橋口 ななこ



5月 環境センター賞 「きれいな水と赤とんぼ」

熊本市立長嶺小学校
2年 安達 千真



6月 環境センター賞 「きれいな森と虫たち」

熊本市立春日小学校
2年 猪口 克馬



7月 グランメッセ賞 「夏の生きものたち」

熊本市立泉ヶ丘小学校
4年 緒方 穂乃花



8月 環境センター賞 「私の畑」

御船町立御船小学校
3年 上田 恵嗣



9月 グランメッセ賞 「ぼく達の守りたい星」

熊本市立出水南小学校
6年 坂本 篤哉



10月 グランメッセ賞 「熊本が誇る菊池渓谷」

熊本市立北部東小学校
5年 工藤 新奈



11月 環境センター賞 「地球」

熊本市立白山小学校
6年 内野 智花



12月 環境センター賞 「私たちが守る」

今年度は、昨年度より一気に約300点増の応募があり、関係者一同大変うれしく思いました。審査会では、そのすべての作品を、1つ1つじっくりと見させていただきました。どの作品からも環境を大切にする思いを感じることができ、審査員の先生がとても悩まれていました。すばらしい作品を応募いただき、ありがとうございました。

なお、入賞した作品は、令和4年3月31日（水）まで、グランメッセ熊本に展示していますので、ぜひご覧ください。



審査会の様子

入選

出品して下さった小学生の皆さん、応募を呼び掛けていただいた関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

1年



「きれいなかわ」
高森町立高森中央小学校 新谷 一翔



「てんとうむし」
益城町立広安西小学校 山田 紘夢



「くものせかい」
益城町立広安西小学校 中島 実希



「くわがたいっばい」
玉名市立玉名町小学校 野口 聡太

2年



「天草のうみ」
熊本市立川尻小学校 植野 新大



「きれいな海にしよう！」
熊本市立河内小学校 福島 朱梨



「どこでもかぶと虫」
熊本市立白山小学校 仁田脇 龍基



「みんなのちきゅう」
上天草市立教良木小学校 榎田 晃大

3年



「ツマグロヒョウモンチョウがとんだ！」
合志市立西合志南小学校 鎌田 美咲



「水道水」
熊本市立壺川小学校 玉井 美葉



「しぜん」
熊本市立出水南小学校 橋本 優花



「自然」
熊本市立北部東小学校 宮崎 光利

4年



「きれいな川」
玉名市立玉陵小学校 城戸 希心



「スナメリがいる天草の海」
熊本市立大江小学校 水上 結里加



「おばあちゃんちのやさい」
熊本市立長嶺小学校 後藤 希美



「芦北の海」
宇城市立豊福小学校 俣溝 篤人

5年



「藤の花」
和水町立菊水小学校 近藤 弘樹



「太陽の元気と月の悲しみ」
熊本市立田迎小学校 奥田 真優



「地下水を大切にしよう。」
熊本市立託麻原小学校 豊田 花



「理想の地球」
熊本市立北部東小学校 緒方 愛望

6年



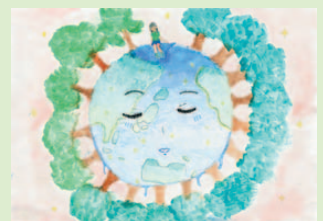
「自然の恵み」
熊本市立北部東小学校 内田 紗那



「道」
熊本市立力合西小学校 西村 こはる



「大好きな江津湖」
熊本市立五福小学校 本田 愛季那



「美しい地球。」
玉名市立玉名町小学校 井口 莉緒奈

佳作

1年



「とんぼのいるせかい」
熊本市立山ノ内小学校 吉田 晴翔



「虫をぜんぶつかまえる」
熊本市立大江小学校 波呂 太一



「むしのせかい」
益城町立広安西小学校 清水 柑名



「うみのごみひろい」
熊本市立出水小学校 高橋 夏々

2年



「きょうりゅう時代の地球」
山鹿市立鹿本小学校 大塚 拓真



「しぜんが大好き」
菊陽町立菊陽中部小学校 秋田 悠成



「カブト虫とあそんだよ」
苓北町立都呂々小学校 松本 忠憲



「生きものたちは、何をしているのかな」
熊本市立白川小学校 中田 彩音

3年



「ちきゅうとうちゅうは広い」
大津町立美咲野小学校 山内 彩染



「元気できれいな海」
熊本市立白川小学校 宮本 陽



「水がとてもきれい」
熊本市立出水南小学校 寶部 陽斗



「うちゅうゴミがふって、地球がない。」
益城町立広安小学校 馬場 美空

4年



「ポイすてNO×リサイクルOK!」
熊本市立託麻原小学校 西田 里桜



「雷のエネルギーを使った未来都市」
熊本市立田迎西小学校 中川 笑里



「あなたはそれでいいんですか?」
熊本市立田迎南小学校 有村 杏奈



「虫が安心してらせるかんきょう」
熊本市立月出小学校 堀ノ内 結愛

5年



「タガメの思い出」
熊本市立秋津小学校 永田 伊織



「森林伐採」
熊本市立池田小学校 吉村 虎之助



「森を流れる川」
芦北町立部浦小学校 荒川 佳穂



「明るい川にダイブ」
熊本市立健軍東小学校 八坂 明実花

6年



「自然と生き物」
熊本市立春日小学校 筑紫 凜



「蓮の花」
玉名市立玉名町小学校 澤田 寧々



「自然豊かな明るい未来へ」
熊本市立北部東小学校 中野 和水



「寂心さんの木」
熊本市立川上小学校 合田 征真

このコンクールは、熊本県環境センター・グランメッセ熊本主催、再春館製薬所協賛により毎年行っています。来年度も開催予定です。

水俣高校での環境への取り組み

水俣高校エコスクール委員会

1 エコスクール登録

水俣高校は、特定非営利活動法人 FEE Japan（国際環境教育基金）実施のエコスクールプログラムに登録しています。環境に関する活動を美化委員と環境委員が連携して企画し、全校生徒・職員全員で取り組んでいます。美化委員によるゴミ収集場での活動や月に1回のエコスクールDay等の活動が評価され、最上位の「グリーンフラッグ校」に2023年3月31日まで2年間認定されています。



写真1：美化委員・環境委員



資料1：グリーンフラッグ認定証

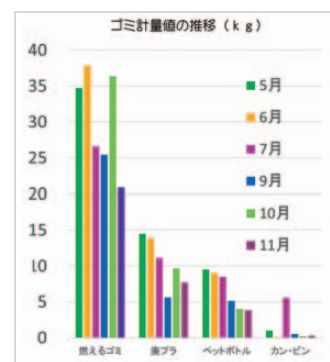
2 日々の取り組み

(1) 資源箱の製作（建築コース）と活用

本校では環境に配慮した取組の一環として、プラスチックゴミの削減を進めています。建築コース生徒が製作した内容物が見えるデザインの回収箱（ゴミではなく分別により資源となるため）を「資源箱」と名付けて、各クラスで活用しています。中身が見えることで分別が徹底され、従来のゴミ箱を使っていた昨年度に比べ、プラスチックゴミの回収量を約2割減らすことができました。



写真2：建築コース生徒制作資源箱



資料2：ゴミ計量値の推移

(2) 美化委員によるゴミ集積場での活動

毎日ゴミの分別状況を確認、計量しています。分類別に計量して一人あたりのゴミ排出量を計算し、集計結果を教室に掲示します。また、分別のこまめな呼びかけ、分別間違いがあったときの周知・改善のお願いも行っています。生徒・職員ともに日頃からの分別を気にするようになり、ゴミの削減につながっています（資料2）。また、よりよい行動を目指そうとする姿が増え、1学期の終盤には分別不徹底による持込ゴミの持ち帰りはゼロになりました。

今年度はゴミ集積場の環境美化も行い、壁の塗装や電灯修理、レイアウト変更を行い、5S（職場環境を整えるための5つの要素「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の総称）の行き届いた集積場を作り上げたことも、分別活動が上手くいっている要因となっています。



写真3：環境美化前



写真4：環境美化後



写真5：ゴミ計量

(3) アイシティブコプロジェクト（通年）

水俣高校は、アイシティブコプロジェクトに参加しています。コンタクトレンズの空ケースを回収してリサイクル素材として売却し、その利益が日本アイバンク協会に寄付されるという活動です。

各教室に空ケースの回収ボックスを常設しており、生徒は日常的に回収活動に参加しています。また、地元の眼科クリニックに協力を仰ぎ、クリニックで出た空ケースの回収も行っています。

この活動の意義を明確に示すことで、今後も活動が長く継続することを目指しています。



写真6：教室常設回収ボックス



写真7：廊下常設回収ボックスと周知ポスター

今年度、コロナ禍の中、感染症対策を十分に行いながら、イベントを開催しました。多くのイベントを実施しましたが、その中から2つについて、担当者へのインタビュー形式で紹介します。

10/3 (日) SUP ~海を感じて地球(ふるさと)を想う~



Q どのようなイベントですか？

SUP (スタンドアップパドルボードの略で、専用のボードによってパドルで漕ぎ進むウォータースポーツ) 体験、ビーチクリーン活動などを通して、きれいな海を体感し、自然を守りたいと感じてもらいたいイベントです。

Q 参加者は何人でしたか？

県内各地から109人の応募があり、当選した41人が参加しました。ここ数年実施したイベントの中で、最大の応募数がありました。応募いただき、ありがとうございました。



Q 参加者の様子はどうでしたか？

参加者からは、頻りに「楽しかった」「もっとやりたい」との声があり、とても楽しんでイベントに参加していました。また、環境についての学習も真剣に取り組み、イベント終了後に周辺のゴミ拾いを自主的に行っている方もいました。



Q イベントを実施して、どうでしたか？

SUPのインストラクターをしていただき、日頃から海的环境保全に取り組んでいる大澤さん(からたち代表)から、今回のイベントにおける参加者の環境に対する意識の変化をととてもうれしく思っているとお言葉をいただきました。

ぜひ、来年度も実施できるように計画を立てていきたいと考えています。



11/27(土) 人形劇



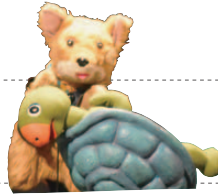
Q どのようなイベントですか？

人形劇ファンタジアによる、森の動物や植物などを主人公とする人形劇をとおして、子どもたちに自然の大切さや優しさを感じてもらい、日常生活にはない空間演出を楽しんでもらうイベントです。



Q 参加者は何人でしたか？

大人19人、子ども22人、計41人が参加しました。コロナ禍で、2年ぶりの開催になりましたが、多くの方に関心を持っていただきました。私自身初めての人形劇でしたが、引き込まれる劇でとても楽しませてもらいました。



Q 参加者の様子はどうでしたか？

多くの参加者から、「よかった」「楽しかった」との声をいただきました。また、「大人でも、人形や声、話に引き込まれ楽しめました」との意見もいただきました。劇が始まると子どもたちが一心に劇に集中する姿がとても印象的でした。

Q イベントを実施して、どうでしたか？

実は、劇は一人の方によって行われていました。その卓越した技術にとっても感心しました。また、特に小さい子どもたちが楽しんでもらえるイベントになり、とてもうれしかったです。今後も人形劇だけでなく、多くのイベントで小さい子どもから大人の方まで環境について学べるように、計画を立てていきたいと思っています。



この他にも、4/18バードウォッチング&リ・グラスアートを作ろう、6/27グリーンカーテンを作ろう、8/1磯のいきもの観察会、9/25干潟観察会、10/2作って飛ばそう！ペットボトルロケット、10/16化石レプリカを作ろう！、11/3作ろう！学ぼう！災害サバイバル教室、11/13、14エコロジスト・リーダ養成講座、12/5まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう！、12/11ミニ門松づくりを実施しました（令和3年12月末時点）。多くの方に応募・参加していただき、ありがとうございました。

環境センターで、地球温暖化について学ぼう！



最近注目を集めている地球温暖化問題。環境センター内のエコステージでは、地球温暖化に特化した展示があります。地球の成り立ち、地球温暖化の仕組み、世界や熊本の温暖化防止の取組を、11mの大型スクリーンを使った映像で学習することができます。また、地球温暖化に関する気候変動シミュレーションを用いた関連資料を見ることもできます。



映像資料だけでなく、パネルでは、地球の危機、温暖化の仕組み、SDGs、温暖化対策の取組などの資料を見ることができます。特に、県内に的を絞った、熊本の地形的特徴、熊本の温暖化の影響、グラフで見る熊本の温暖化の資料は、温暖化問題を身近に感じることができるものになっています。環境センターで、地球温暖化について学び、自分にできる対策を一緒に考えてみませんか。



皆さんの環境を大切にする活動に、少しでも貢献するために読者アンケートを実施しています。右のQRコードより、アンケートに答えることができます（実施時間約5分）。今回のエコタイムズは、前回の読者アンケートを参考に編集しました。ぜひ、皆さんの考えをお聞かせください。





©VR革新機構 提供：熊本県環境センター



ドールハウス表示

©VR革新機構 提供：熊本県環境センター

インターネット上で館内見学ができるように、VR映像を制作いたしました！
熊本県環境センター内を360度ご見学いただけます



©VR革新機構 提供：熊本県環境センター

地球の平均気温が、水蒸気、二酸化炭素が増えれば、マイナス19度まで降り注ぐ光は、地球表面から放射さ

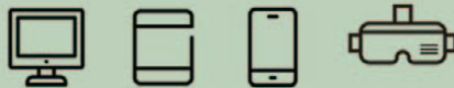


©VR革新機構 提供：熊本県環境センター

🔑 キーワードを探せ！ 🔑

まなびの丘の3施設（熊本県環境センター/水俣病資料館/水俣病情報センター）をVRで見学してキーワードを探そう！

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦



VR映像はパソコンやスマートフォンでお楽しみいただけますが、専用ゴーグルをご使用いただくと、よりお楽しみいただけます

きみにもできる

エコアクション!

一緒に

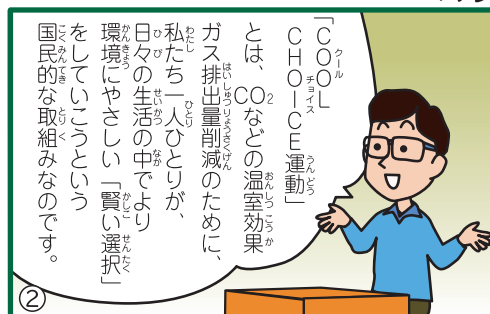
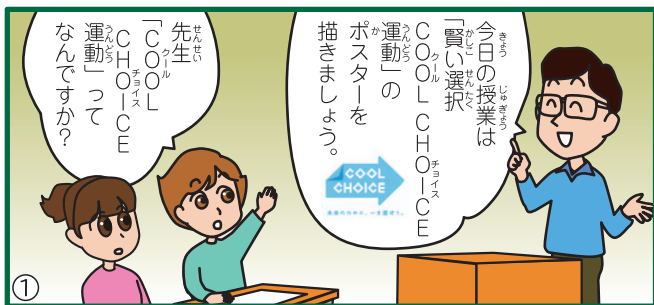
エコアクション
はじめよう!

まきま 環ちゃん: 小学5年生

けい 境くん: 小学5年生

その41 「賢い選択」COOL CHOICEで温暖化を防ごう!

by ぴろ



できることから始めよう、暮らしを脱炭素化するアクション!
ゼロカーボンアクション30項目

エネルギーを節約・転換しよう!

- 1 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取る
- 7 消費エネルギーの見える化

太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう!

- 8 太陽光パネルの設置
- 9 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を選択
- 10 省エネリフォーム 窓や壁などの断熱リフォーム
- 11 蓄電池・蓄エネ給湯機の導入・設置
- 12 暮らしに木を取り入れる
- 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- 14 働き方の工夫

CO2の少ない交通手段を選ぼう!

- 15 スマートムーブ
- 16 ゼロカーボンドライブ

持続可能なファッションを!

- 17 今持っている服を長く大切に着的
- 18 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 19 環境に配慮した服を選ぶ

CO2の少ない製品・サービスを選ぼう!

- 20 脱炭素型の製品・サービスの選択
- 21 個人のESG 投資

食ロスをなくそう!

- 17 食事を食べ残さない
- 18 食材の安い物や保存などでの食品ロス削減の工夫
- 19 旬の食材、地元産の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- 20 自宅コンポスト

3R(リデュース、リユース、リサイクル)

- 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトルを使う。
- 25 修理や補修をする
- 26 プリマ・シェアリング
- 27 ごみの分別処理

環境保全活動に積極的に参加しよう!

- 30 植林やごみ拾いなどの活動

では具体的にどんなアクションがCO2削減につながるのか、「ゼロカーボンアクション」30項目を見てみましょう。

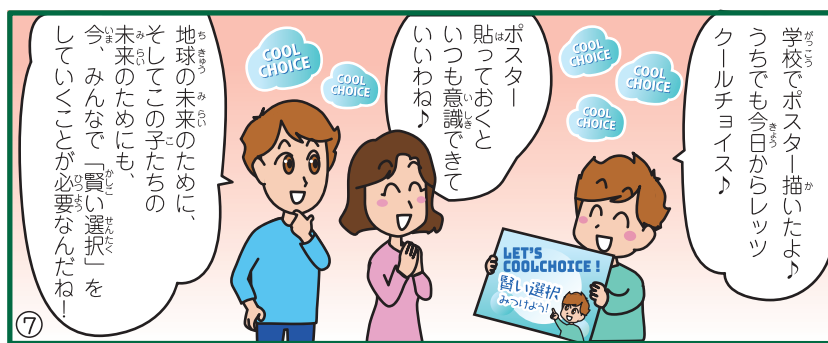
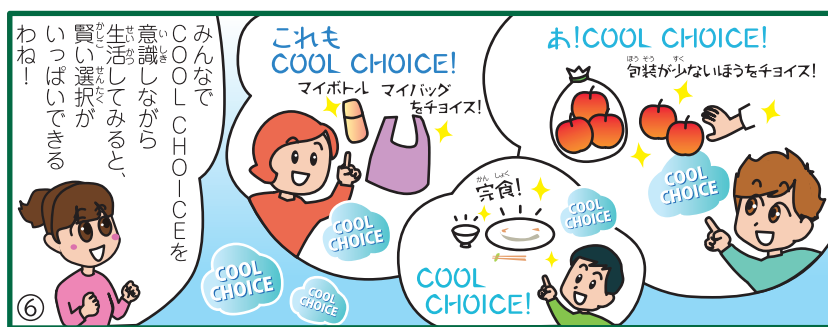
私にもできそうなことがいっぱいあるわ!

たかさんのことが、脱炭素社会づくりへの貢献につながるんだね!

COOL CHOICE

すのう編集後記

「COOL CHOICE運動」は、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしているという取り組みです。衣食住や移動といった、ライフスタイルに起因する温室効果ガスの排出量は、我が国全体の排出量の6割以上を占めるという分析があり、一人ひとりの行動がカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に影響しています。脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。できることから、「ゼロカーボンアクション」に取り組んでいきましょう。



出前講座「動く環境教室」紹介

環境センターの職員が、県内各地に出向き、環境学習と制作体験を行う、動く環境教室を、今年も多くの団体にご活用いただきました。令和3年12月末時点で、38団体1870人に受講いただきました。最初は制作体験に戸惑う参加者が、時間を忘れて熱心に作業をされる姿をたくさん見ることができました。また、UVビーズストラップを作成した後に「すごくきれいな色だね」や、「帰ってから、使わない部屋の電気を消すようにします」との声を聞くことができました。この講座が、参加される方の環境を大切にしている行動につながることができ、とてもうれしく思います。

令和3年度実施団体（敬称略）令和3年12月末実施まで

八代市立第二中学校、八代白百合幼稚園、山鹿市生涯学習講座、熊本大学教育学部附属小学校4年2組、ひかりサンクラブ、合生コミュニティ地域づくり運営委員会、さくらんぼクラブ1組2組、人吉乳児保育園わくわく学童クラブ、株式会社アドルーム、菊池市中央公民館キクロス、熊本市立白中学校特別支援学級、菊池市生涯学習センター、玉名地域振興局土木部、南関町立南関第四小学校4年生、長洲町中央児童館、菊陽町中央公民館、水俣市立水俣第一小学校4年生、水俣市立水俣第二小学2年生、JAあしきた女性部津奈木支部、熊本市立城南小学校2年生、山鹿市立大道小学校2年生、八代市立高田小学校2年生、山鹿市立平小城小学校、芦北町立湯浦小学校放課後子ども教室、水俣市立袋小学校1年生、水俣市立水俣第一小学校2年生、熊本市南部まちづくりセンター、熊本市立碩台小学校2年生、宇土市網津公民館、熊本市西部交流センター、県立菊池支援学校小学部3・4年生、相良村立相良南小学校2年生、エコアくまもと、芦北町立佐敷小学校放課後教室、宇土公民館、熊本市立城南図書館、宇土市花園公民館、熊本市立古町小学校5年生

環境センターでは、他にも、里山体験やエコクッキングなどの体験学習や、竹箸づくりなどの自然体素材を生かしたものづくりなどができるエコロジスト・リーダー派遣（令和3年12月末までに11回実施）や、各分野の専門家や大学教授などが自然観察会や学習会を行う環境教育指導者派遣（令和3年12月末までに15回実施）などもあります。



情報プラザから

この本をすすめたい！



『こども環境学』 朝岡幸彦／監修

異常気象が増えている？北極の氷がとけている？いま、地球は何が起こっているの？

「SDGs（持続可能な開発目標）」の土台となる環境問題をわかりやすくゼロから学ぶことができます。

「環境学」とは何か？から始まり、身近なスーパーのレジ袋の話や給食の食べ残しの話など身近な話題も取り上げられています。環境問題について考えるはじめの一歩になるかもしれない1冊です。

『最近、地球が暑くてクマってます。シロクマが教えてくれた温暖化時代を幸せに生き抜く方法』水野敬也／著

「あの、もしかして日本の人ですか？レジ袋有料化じゃあ温室効果ガス、全然減らないんですよ。クマっちゃうんですよね…」

北極にすむシロクマの親子が地球温暖化を解決できる方法をお教えしちゃいます。

写真も盛りだくさんで、ほのぼのとしてくすりと笑えるわかりやすく楽しい地球温暖化対策について考える1冊です。



新刊紹介

新しい図書がはまりました

一般書

図解でわかる14歳からの脱炭素
インフォビジュアル研究所／著
プラスチックごみ問題入門 栗岡 理子／著
脱炭素時代を生き抜くための「エネルギー」入門
齋藤 勝裕／著
子どもの命と未来を守る！「防災」の新常識
奥村 奈津美／著

児童書

マンガで学ぶSDGs①～④ 蟹江 憲史／著
山火事のサバイバル ゴムドリ／著
地球環境博士になれるピクチャーブック①～③
ハンナ・ウィルソン／著
きみはぼうさいたいし にかい としひろ／著

あとがき

環境センターは、空調改修工事のため令和3年2月から6月まで、感染拡大防止のため8月、9月を休館しておりましたが、10月より開館しました。開館後多くの方に来館いただき、感謝申し上げます。今後も感染症対策に万全を期してまいります。また、企画した各イベントには、定員を超える応募があり、うれしく思います。令和4年度も皆さまが充実した環境についての学習ができるように、展示の工夫やイベントを行えるように計画中です。皆さまのご来館・イベントへのご参加をお待ちしております。



熊本県環境センター

〒867-0055 熊本県水俣市明神町55-1 TEL.0966-62-2000

FAX0966-62-1212

E-mail : kankyo-center@dance.ocn.ne.jp

■開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日：毎週月曜日（月曜日が祝・休日の場合は次の平日）、年末年始

発行者：熊本県
所 属：環境センター
発行年度：令和3年度